



農林水産省

総務省承認 No. 2 6 0 6 5
承認期限 平成18年4月30日 まで

指標コード									
局・取り まとめ センター	市町村	調査区	世帯番号	区分	センター	規模	調査月		

平成17年度 食 品 ロ ス 統 計 調 査 世 帯 調 査 票

この調査は、農林水産省が、統計報告調整法第4条第1項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。
また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対にありませんので、ありのままをご記入くださるようお願いします。

世帯の概要			世帯員構成							
記帳者の氏名 (食事管理者)		職 業 有・無	世帯員 コード	記帳者との続き柄	性別 1 2 男 女	満年齢 (歳)	世帯員 コード	記帳者との続き柄	性別 1 2 男 女	満年齢 (歳)
連絡先電話番号	()		1	記 帳 者	1 2		7	父	1 2	
住 所	〒	都 道 府 県	2	配 偶 者	1 2		8	母	1 2	
			3	子	1 2		9		1 2	
			4	子	1 2		10		1 2	
区 町 村	丁目	番 号	5	子	1 2		11		1 2	
			6	子	1 2		12		1 2	

- 注：1 職業欄については、調査期間の1週間の状況について、自営か勤め（パートタイムやアルバイトを含む）かに関わらず、働いている場合は「有」を、それ以外の場合は「無」を○で囲んでください。
2 世帯員構成欄は該当する世帯員の続き柄及び性別欄を○で囲んで満年齢を記入してください。

問い合わせ先

農政局 _____ 取りまとめセンター _____ センター

担当者氏名 : _____

連絡先 : _____ () _____

【記入上の注意】

食品の使用状況

1 家庭における調査品目

この調査の対象品目は、あなたの家庭内の食品のうち、そのまま飲食したもの、料理等で使用したもの、食べ残して廃棄したもの及び賞味期限切れなどで使用しないでそのまま捨てたものとなります。

また、家庭で作った弁当の食べ残し等も食事管理者の把握可能な範囲で記入してください。

2 調査期間

調査期間は、1週間です。

3 調査項目

- (1) 「調査月日」欄は、調査した月日を記入し「食事区分」欄に該当する番号を○で囲んでください。

ただし、朝食兼昼食（ブランチ）については「2 昼食」としてください。

なお、「食事区分」欄の「4 その他」とは、おやつ、夜食や一般的な朝食、昼食、夕食の時間帯以外の食事です。

- (2) 「一緒に食事をした世帯員コード」、「後から食事をした世帯員コード」、「欠食した世帯員コード」、「外食した世帯員コード」の各欄は朝食、昼食及び夕食について、世帯員の世帯員コード番号（表紙を参照）を、各該当する欄に記入してください。

ただし、食事区分の「4 その他」に該当する場合は、一緒に食事をした世帯員コードのみを記入してください。

なお、外食には、購入して外で食べる弁当類を含めます。また、子供が学校給食を取る場合は、世帯員コードを記入しないでください。

- (3) 調理をする場合は、「料理名又はそのまま飲食した食品名」欄に料理名を記入し、使用した食材をすべて（水、揚げ物に用いた油、調味料等を含む）「調理に使用した食材名」欄に記入してください。なお、食材名を記入する際には、料理名を記入した欄から一行あけて、次の欄から食材名を記入してください。

次に、「調理に使用した食材名」欄に記入した食材ごとに、「下処理をする前の重量又は給仕重量」欄に重量を秤で量って記入してください。

また、調理時に魚の骨や皮、果物の皮などを食べられない部分として取り除いた場合は「食べられない部分として取り除いた重量」欄に重量を秤で量って記入し、食卓へ配膳後に出た骨、皮などは「食べ残して捨てた重量」欄に記入してください。

- (4) 食後に食卓に残ったものを捨てた場合は、その重量を秤で量って「食べ残して捨てた重量」欄に記入してください。
ただし、これが、骨、皮などの食べられない部分であった場合には（ ）を付してください。
- (5) 賞味期限切れ、作りすぎ、調理を失敗するなどで食卓に出さずにそのまま捨てた場合は、その重量を秤で量って「賞味期限切れ、作りすぎ、調理を失敗した等で食卓に出さずにそのまま捨てた重量」欄に記入してください。
- (6) 惣菜、菓子パンなどのように、調理せずそのまま飲食する食品等については、「料理名又はそのまま飲食した食品名」欄にその食品名を記入し、給仕する重量を秤で量って「下処理をする前の重量又は給仕重量」欄に記入してください。なお、食べられない部分として一部を取り除いた場合や、食べ残して捨てる場合は、上記(3)及び(4)と同様に記入してください。
- (7) 調査の開始日以前に作り置きや保存しておいたものを使用する場合は、「持ち越しの場合は最初に調理した月日を記入」欄にその食品を最初に調理した月日を記入し、その重量を秤で量って「下処理する前の重量又は給仕重量」欄に記入してください。
食べずに廃棄した場合は、「持ち越しの場合は最初に調理した月日を記入」欄にその食品を最初に調理した月日を記入し、その重量を秤で量って「下処理する前の重量又は給仕重量」欄及び「賞味期限切れ、作りすぎ、調理を失敗した等で食卓に出さずにそのまま捨てた重量」欄に記入してください。
- (8) 調査期間内に作り置きや保存しておいたものを使用する場合は、「持ち越しの場合は最初に調理した月日を記入」欄にその食品を最初に調理した月日を記入し、「下処理する前の重量又は給仕重量」欄は空欄としてください。
- (9) 「調理品コード」及び「品目コード」欄は記入しないでください。

食品の使用状況（つづき）

單位：g

[illegible]

メ毛欄

食品の食べ残しや廃棄を行った理由などについておたずねします。

問1 お宅では、この1週間において、どのような理由で食品の食べ残しや廃棄をされましたか。該当する番号を○で囲んでください。

問1-1 食卓に出した料理の食べ残しはありましたか。

- 1 食べ残しがあった。 「1」を選択した場合お答えください。
2 食べ残しはなかった。

それは、どのような理由ですか。(複数回答可)

- 1 料理の量が多かったため。
2 嫌いなものが含まれていたため。
3 味がよくなかったため。
4 家族の中で食事を食べなかった人がいたため。
5 体調不良等何らかの理由により普段より食事の量が少ない人がいたため。
6 その他

(具体的な理由:)

問1-2 購入等した食品を使用せずに廃棄したものはありましたか。

- 1 廃棄があった。 「1」を選択した場合お答えください。
2 廃棄はなかった。

それは、どのような理由ですか。(複数回答可)

- 1 食品の消費期限・賞味期限が過ぎたため。
2 食品の鮮度が落ちたり、腐敗したり、カビが生えたりしたため。
3 色やにおいなどで食品の安全性に不安を感じたため。
4 食品が中途半端に余ったため。
5 その他

(具体的な理由:)

問1-3 調理した料理を食卓に出さずに廃棄したものはありましたか。

- 1 廃棄があった。 「1」を選択した場合お答えください。
2 廃棄はなかった。

それは、どのような理由ですか。(複数回答可)

- 1 調理を失敗したため。
2 料理を作りすぎてしまったため。
3 家族の中で食事を食べなかった人がいたため。
4 体調不良等何らかの理由により普段より食事の量が少ない人がいたため。
5 その他

(具体的な理由:)

問2 お宅では、食品の食べ残しや廃棄を少なくするため注意していることはありますか。下記の各項目について、「はい」または「いいえ」の該当するものを○で囲んでください。

- 食品の使い残しを防ぐため、こまめに買い物をしている。
○ 小分け野菜やばら売りなど使い切れる分量を購入するようにしている。
○ カット野菜などの下処理済みの食品を購入するようにしている。
○ 保存してある食品の買い置きや消費期限・賞味期限をこまめに確認している。
○ 食品の適性に応じた適切な方法による保存を心がけている。
○ 缶詰、冷凍食品など比較的賞味期限の長い食品を利用するようにしている。
○ 作りすぎないように注意している。
○ 調理方法を工夫し、捨てる部分が少なくなるようにしている。

はい いいえ
はい いいえ
はい いいえ
はい いいえ
はい いいえ
はい いいえ
はい いいえ
はい いいえ

その他(具体的な方法:

)

1週間の記帳ご苦労様でした。食品ロス統計調査へのご意見、ご感想がありましたら自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

総務省承認 No. 2 6 0 6 6
承認期限 平成17年11月30日まで



農林水産省

指標コード									
周・取り まとめセ ンター	市町村	調査区	事業所番号	業	種	センター	規	模	料

平成17年食品ロス統計調査 外食産業調査票

事業所の概要

事業所の名称	(フリガナ)	所在地	〒	都道府県	市区群	区町村
協力者の氏名 及び所属部署	(フリガナ)					
		電話番号	代表 ()	内線 (番)		

【記入上の注意】

- 「調査期間」欄には、調査した年月日及び時間帯を記入する。
- 「メニュー名」欄には、調査対象とするメニュー名を記入する。
- 「調査対象食数」欄には、調査対象時間内に調査対象としたメニューの食数を記入する。
- 「料理名」欄には、メニューを構成している調理品名（ご飯、サラダ等）を、「食材名」欄には、調理品に用いられている品目名（食材）を記入する。
 なお、「1 調査標本メニュー量（食品使用量）」の食材の重量については、秤量と客体からの聞き取りにより詳細に記入する。また、ハンバーグなどのように構成する食材毎に分別して秤量することが困難なものについては、その調理品を構成する食材の構成割合などを客体から聞き取り、食材別の重量を詳細に記入する。
- 「総重量」欄には、調理品の盛りつけられている容器（皿等）、秤量のために用いた皿などを含めた重量を秤量して記入する。
- 「風袋重量」欄には、調理品の盛りつけられている容器（皿等）、秤量のために用いた皿などの重量を秤量して記入する。
- 「不可食部分」欄については、果物の皮、魚の骨など通常食さない部分の重量を秤量して記入する。
- 「2 ごはん（白飯）の提供方法」には、ごはんの提供方法に該当する番号に「○」を記入する。なお、調査標本メニューにごはん（白飯）の提供がない場合は記入不要。
- 「3 食べ残し量（1食毎の食べ残しの重量）」
 - 「料理番号」には、1 調査標本メニュー量（食品使用量）より該当する料理の料理番号を記入する。
 - 「料理名」には、1 調査標本メニュー量（食品使用量）より該当する料理の料理名を記入する。
 - 食べ残し量（1食毎の食べ残し重量）は、食べ残しがあった場合に秤量に用いた皿等の重量は含めずに、食べ残された料理の重量を1食毎、料理毎に秤量して、1食毎に表頭の番号（1～20）の昇順に記入する。

調査期間	平成 年 月 日 : ~ :		
メニュー名		調査対象食数	食

1 調査標本メニュー量 (食品使用量)

単位: g

料理番号	料理名	調理品コード	食材名	品目コード	総重量	風袋重量	正味重量	不可食部分
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								

[illegible]

2 ごはん（白飯）の提供方法（該当する番号に「○」を付ける。）

- 1 定量の提供のみ
- 2 おかわりが可能
- 3 提供量を選択できる。(大・中・小等の選択)

